

10月16日

回 覧

松川村役場 総務課 1万人復活特命係

TEL: 0261-62-3111

E-mail: tokumei@vill.matsukawa.nagano.jp



安曇野ちひろ公園FB 地域おこし協力隊FB

地域おこし協力隊通信 VOL.1



松川村では、現在9名の地域おこし協力隊が、各分野で活動しています。今後、不定期ではありますが、本通信を通じて、各協力隊員の日々の活動や紹介を行っていきたいと思います。村民の皆様と協力隊員との関係が、より緊密になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(作成：地域おこし協力隊 川上洋一)

地域おこし協力隊って何？

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。地域おこし協力隊員の活動そのものによる地域活性化とあわせて、隊員が最終的に地域に定着することによる地域の活性化も制度の目的です。任期は、最長で3年となっています。



裏面では、協力隊第1期生の2名を紹介します！

地域おこし協力隊を紹介します！

インタビュー：協力隊 川上



平成27年9月に着任した西澤さん。農業にとっても興味があつた事と、前職の販売職の仕事経験を生かし村農産物販路拡大に努めたいと思い、神奈川県から松川村に移住しました。着任後に4人目のお子さんが生まれ、奥様と共に家族6人で暮らしています。

着任時は営農支援センターに所属していました。この間、保育園児や小学生に食育の大切さを教えるため、田んぼや畑を管理。『はたけの先生』として今でも多くの園児や小中学生に親しまれています。その他『鈴ひかり』をはじめとした、松川村の特産品を、県内外で販売したり、ふるまいを行ったりして、村の農産物のPRに大きく貢献してきました。

今年度からは、安曇野ちひろ公園内、体験交流館北側で、田畑の管理や収穫体験を主として担当するようになりました。『食・農・いのち』をコンセプトとした公園で、収穫体験を通じ、観光客の方などに、これらの大切さを伝えていきたいと、暑さ寒さに負けず、日々奮闘しています。

最後に西澤さんから一言。「安全安心でとても美味しいお野菜を村のお母さん方と一生懸命作りました。毎日、楽しい収穫体験が出来ますので是非、遊びに来てください。」

平成27年10月に着任した私川上。結婚、妻の妊娠を機に、生まれてくる子どもは自然の中でのびのびと育ててほしいと、昔から憧れだった長野県に東京から移住してきました。翌月には長女も誕生し、翌年から妻と子どもを呼び寄せ、3人での松川村の生活をスタートさせました。

担当は移住定住支援。空き家バンクの開設、移住パンフレットの作成、都市部で行われる移住セミナーへの出展などを行ってきました。今年4月からは新設の係『1万人復活特命係』への配属となり、魅力体感ツアーや婚活イベントなどを企画し、少しでも村に関心をもってもらい、将来の移住に繋がればと、努力しています。



東京に住んでいたころから、自然農法に強い関心を持ち、松川村に移住後、念願の畑を借り、自身の思い描く農法で野菜の栽培を始めました。無肥料無農薬での栽培は、思うようにいかないことの方がほとんどで、日々苦悩しつつも、畑にいるときは時間を忘れ作業をしています。松川村に定住するにはどうしたらよいか、日々思いを巡らしながら、残りの任期を過ごしています。

「たくさんの移住相談を受けてきましたが、私自身が移住者であり、移住者の視点に立ってお話出来るので、これからも、移住の話はもちろん、村のPRも含めて、魅力を伝えていきたいです。」